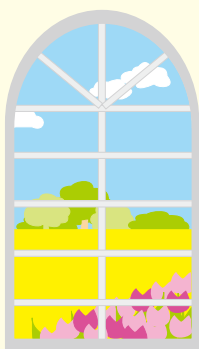




「うりぼうニュース」の「うりぼう」とは、「イノシシの子ども」のことで、丹波地域がイメージでき、これからの成長を願えるようにと命名しています。

発行：丹波地域ビジョン委員会 〒669-3309 丹波市柏原町柏原688 TEL(0795)72-0500(内217) FAX(0795)72-3013

## 平成24年度 丹波の森夢会議開催!



### CONTENTS

平成24年度「丹波の森夢会議」を開催!	P 2
各実践活動グループの活動紹介	P 4
平成25年度丹波県民局の重点的な取組の紹介	P 7
丹波地域ビジョン委員会からのお知らせ	P 8

平成24年度

## 「丹波の森夢会議」を開催!

十二月十五日(土)に柏原住民センター(丹波市柏原町)で、「丹波地域の『いいね!』を増やしましょ!」をテーマに、「丹波の森夢会議」を開催。地域住民や地域ビジョン委員など約百名が集まり、ビジョン委員会の実践活動グループの発表や発表に対する意見交換等を行いました。

第6期丹波地域ビジョン委員会では、ビジョン委員が8つの実践活動グループに分かれて、様々な実践活動を行っています。が、今回の夢会議では、ビジョンの活動を広く伝えるとともに、活動内容の充実や活動の一層の連携等を深めるため、各グループの取組の発表を行ったほか、発表に対する意見交換等を行いました。

はじめに、足立徳行丹波地域ビジョン委員長から「丹波地域ビジョン委員会は、丹波地域の良さを再認識して、『丹波地域に住んでよかった』『住んでみたい』とっていただける魅力ある地域にしたいという思いで、地域のみなさんとも連携しながら活動を進めてきた。本日は8つのグループから活動の発表を行うので、会場の方からも積極的なご意見をお願いしたい。」とのあいさつがありました。



次に、8つの実践活動グループが発表を行い、参加者からは発表に対する意見等が数多く寄せられました。

### 「グループの活動発表に対する意見等のまとめ」

(横山専門委員、小橋専門委員)

### 青少年健全育成グループ

・家庭の取組も重要なので、家

庭でどう対応すればいいかを啓発してほしい。

### グループたんばなう

・発見した資源をマニュアル化した。どこでどういったものが丹波地域に眠っているのかを分かるようにまとめている。

・丹波地域が自立するというのはどういうイメージか。発見した材料に対して将来誰が取組等を担っていくのか。

### 里山のお宝探検隊グループ

・里山の活動をしているグループがたくさんあるので連携してほしい。



・グループの最終目標はどのようなものか。

### グループさるがが出た!!

・専門用語を使わずにやっているのが良く、実験も分かりやすかった。活動をもっとPRすべきだ。  
・トラッキング現象は知らなかった。勉強になった。

### 都市との交流グループ

・移住者の意見をみんなで共有したい。  
・田舎暮らし体験の取組をしていきたいが、実際のノウハウを教えてほしい。

### 遊楽農グループ

・有機栽培のノウハウを貯めてもらい、共有できるようにしてほしい。  
・丹波の里塾のコスト面や実施の継続に向けた課題は何か。

### 高齢者の生きがいづくりグループ

・公民館行事に取り入れてもらえるよう働きかけてはどうか。  
・活動自体が健康づくりになっているので、仲間を増やしていくのはどうか。

### 男女共同参画グループ

・紙芝居化によるメッセージの伝達という手法を、他のグルー

でも使えるような形で共有してあげたいのではないかと。広報をしっかりして、各地域でできるように工夫してほしい。



**【意見等に対するグループの回答】**  
**グループたんばなう**

・コミュニティビジネスをすることが自立であると考えているわけではないが、自立にはつながると思っている。  
・活動に対し、まず当事者意識を持ち、そのうえで役割を担っていくことが必要だと思う。

**里山のお宝探検隊グループ**

・グループの最終目標は、豊かな自然の里山やその現状が正しく理解されたうえで、都会の人と有意義な交流をするというものだと考えている。

**都市との交流グループ**

・Ｉターン者は、自然、おいしいもの、豊かな人情、受け継がれた歴史などを求めて丹波地域へ来ているが、地元の方はそれを宝物だと思っていない。この意識ギャップが一番大きいので、Ｉターン者の力や新たな発想を活用した地域づくりが行われることを期待している。

**遊楽農グループ**

・「丹波の里塾」の継続については、栽培したものを売ったり、塾生から受講料をもらえば今後も可能だと思う。

**【意見交換】**

・丹波地域で今、一番問題になっているのは医療の問題であり、多くの人が参加して丹波地域のあり方を検討してほしいし、ビジョン委員会でも話し合っ

ていくべきではないか。

・たくさんの方が活動が展開されているので、自治会の活動でも取り入れたい。

・自分たちで何ができるか、自分たちでできることをやるということとしてビジョン委員として活動している。「もっとこうしたらいい」、「こういうことがある」という意見があればぜひ教えていただきたいし、我々の活動についてもご理解、ご協力をいただきたいと思う。

**【井戸知事総括コメント】**

・特にこれからの情報社会は、距離を越えてどのような活動を展開していけるかということだと思ふ。

・里山は人の手が常に加えられる、その成果である収穫が人の生活を豊かにする。外ばかり見ないで、丹波の里山の良さを見つけていただけるとありがたい。

・Ｉターンの人と地元の人とのギャップがくせ者だ。日役があることを、住んでみて初めて知ったという人もいるが、田舎では当たり前ということを都会の人たちに認識しても

らいたい。

・ビジョン委員会のような自主的な活動は続けてもらったらいいし、やるべきだと思う。一方で、市や県として取り組むべき課題は真剣に取り組んでいく。マイナスの面を一つにプラスに変えるのは難しいが、マイナスの進行をできるだけ小さくし、最後にプラスにしていく。こういう努力を積み重ねていくことが大事だと思う。

・丹波で生まれ、育ち、生活して、丹波で死ぬ。これが丹波人の心意気ではないか。課題にどう対応し、解決に対して協力していくか。いろいろな考え方があってその姿勢を常に持ち続けていけば地域は良くなるのではないかと。



# 各実践活動

## グループの活動紹介

### グループたんばなう



マコモダケの収穫

「たんばなう」では、地域の自立を実現するために、1年目はビジネスの種を発掘するという事で、放置されがちな柿や竹に続き、マコモダケ、廃鶏などの有効活用を模索しています。そして4月からの2年目では、これらビジネスの種に磨きをかけ、売れる魅力的な商品へと開発をしていきます。

1月19日には、丹波地域内外から80人以上集まっていた、廃鶏と平飼卵を使った親子丼や地元食材で作った味噌汁、お餅などを参加者とともに作り、いただきながら

活動をPRする新年会イベントを開催しました。アンケートを実施した親子丼については、たくさんのご意見をいただくことができ、今後の商品開発に活かしていきたいと考えています。

まだまだ丹波には忘れられたり見過ごされた宝がいっぱい眠っていると思います。まだまだ情報をお待ちしています。また一緒に活動をしていただける同志も募集しております。一緒に丹波を魅力的な地域にいきましょう。

### 里山のお宝探検隊グループ

先般の丹波の森夢会議において、他のグループの活発な活動状況や丹波地域の里山に対するニーズの高さを実感し、私たちのグループにも「頑張れ」との励ましを頂き期待の大きさを感じました。そうした中で当グループは、活動の主目的である交流イベント地を篠山市大山地区とし、4月28日の実施に向け地域の自治会、関係諸団体の方々や都市との交流グループへの協力支援を要請したところ、それぞれの方々から快諾を得て、私たちの活動にも拍車がかかり、

現在、事前準備にとりかかっています。イベント内容は、大乘寺から金山(鬼の架け橋)、鐘ヶ坂の明治・昭和のトンネルといった里山散策による動・植物の観察と歴史探究をしながら、里山だから味わえる山菜の魅力にも迫り地域と都会の人たちの交流を深めたいと考えております。



鐘ヶ坂トンネル(明治のトンネル)

## 都市との交流グループ

「都市住民と丹波地域住民が交流する」、「都市住民が丹波地域へ移住・定住する」、これが私たちのグループがめざす活動です。昨年11月には、篠山・洞光寺のみじまつりで、「都市と丹波の交流コーナー」のテントを設け、都市からのお客さまに、丹波地域の観光や地域情報を提供したり、丹波地域への移住に向けた相談を受けました。

来る3月24日(日)には、丹波市青垣町に完成した「田舎暮らし体験古民家」(かじかの郷)をお借りし、「都市住民と丹波住民の交流会」(30名参加予定)を開きます。この古民家は、丹波地域への移住を考えている方に1ヶ月単位で宿泊体験をしてもらうためのものです。交流会では古民家の見学、地元食材を使った手づくり料理を味わったあと、参加者による意見交換会をします。

丹波地域の人口減少は、地域力の低下を招いています。一方で都市住民の田舎暮らし志向が高まっています。この二つをマッチさせること、それは単に数の問題ではなく、双方が納得し、満足する移住・定住ができることが必要であり、私たちのグループでもその取組をサポートしたいと思っています。



都市と丹波の交流コーナー

## 遊楽農グループ



収穫祭

～農業の楽しさを丹波で体験しよう～

有機野菜栽培体験塾「第3期丹波の里塾」を開催し、多数の方にご参加いただきました。

- 8月18日(土) 肥料まき、秋野菜苗作り、播種
- 9月15日(土) 秋野菜移植
- 10月20日(土) 秋野菜管理
- 11月17日(土) 秋野菜収穫祭
- 1月19日(土) 特別塾 手作りの黒豆の味噌作り(10月頃の出来上がりが楽しみです。)

今年も丹波の里塾(第4期)を開催しますので、参加をお願いします(4月～11月の計7回開催予定)。

## 高齢者の生きがいづくりグループ

グループでは、高齢者の健康増進と体力向上を目的とした講演会「いきいき健康講演会～ウォーキングで心も体もいきいき熟年を目指して!～」を、「インターバル速歩」を提唱されている能勢博信州大学大学院教授を迎え2月17日に開催しました。100名を越す参加者を前に能勢教授は、1万歩だらだらと歩くだけでは体力は向上しないと説明されるとともに、3分間隔で「速歩き」と「ゆっくり歩き」を繰り返すインターバル歩行を取り入れたウォーキングにより、高齢者の体力アップと健康増進が図られた実例を示され、この方法がこれからの超高齢化社会の医療費の抑制につながると熱く語られました。



「いきいき健康講演会」の様子

## 青少年健全育成グループ

～不登校とひきこもりを地域で支えよう～

青少年健全育成グループでは不登校やひきこもりの当事者・家族を支えるネットワークづくりをめざしています。

### 【主な活動内容】

1月 こども・若者の居場所「TAMARIBA」(丹波市春日町)の開所式を行いました。毎週日、月曜日がオープン日です。

2月 丹波市連合婦人会主催(青少年健全育成グループ協力)の講演会と学習交流会「ひきこもりって何?」を開催

80名を超える多数の参加者があり、意見交換も活発に行われました。

活動が徐々に形になって見えてきました。居場所「TAMARIBA」を中心にこれからの形、成果を出していきたいと思えます。



「TAMARIBA」の開所式

## グループさるが出た!!



啓発活動の様子

1月13日に第1回目の啓発活動を丹波市春日町古河自治会で行いました。トラッキング現象(プラグとコンセントの間にたまったほこりが湿気を帯びて発火すること)の実演、身近な物を使った応急担架や応急手当の説明をさせていただきました。

目の前でトラッキング現象を見てもらえたのが良かったようでした。また、身近な物を担架にして搬送する講話では、竹と毛布を使ったものを実際に作り住民の方に患者や搬送係をしていただきました。

今後もどんどん啓発活動を行い、防災・減災という重たい話ですが楽しく視聴していただけるようにスキルアップに努め、丹波地域の安全安心に寄与できたいと思っています。

その後、3月9日には丹波の森公苑で丹波市消費者協議会のみなさんに啓発活動をさせていただきました。メニューも増やして色々なニーズにも対応できるようにしていきたいとも考えていますので、講話等のご依頼お待ちしております。

## 男女共同参画グループ

私たち男女共同参画グループは、主に家庭、地域での男女共同参画に関する内容を題材に紙芝居を作成し、上演の要請があった自治会などに出向き、地域の人たちと一緒に勉強させていただいております。

若者の間ではデートDVなどの問題が起きていると聞いていますが、一番身近な家庭、地域、職場の取組が遅れているのではと考えます。

これから少子高齢化が進んでいく中で、男女が助け合い、楽しく暮らしていくためには、男女共同参画は必須の条件と考えます。

他の団体との連携も視野に入れながらグループ一同和気あいあいと活動していきたいと思っています。

紙芝居を通じて、みなさんと一緒に楽しみながら考えていきたいと思えますので、上演のご依頼お待ちしております。



紙芝居上演の様子

平成25年度

# 丹波県民局の重点的な取組

「『丹波ファン』の拡大」、「『丹波ブランド』による地域活性化」、「『住みたい丹波』の実現」を重点に、丹波地域ビジョンで掲げる5つの将来像の実現を目指します。

みんなで創る

〃自立のたんば〃

- 地域の魅力発掘と情報発信
- ・丹波の魅力を活かした「丹波ファン」の拡大
- ・恐竜化石を活かしたまちづくり



▲化石発掘体験

都会に近い田舎を楽しむ  
〃交流のたんば〃

- 豊かな自然環境の保全と活用
- ・環境パートナーシップづくり（行政と住民団体等の連携）
- 都市との多彩な交流の推進
- ・田舎暮らし呼び込み大作戦
- ・JR福知山線の利便性向上

やりがいを実感できる  
〃元気なたんば〃

- 地域産業をリードする農林業の振興
- ・京都丹波と連携した丹波ブランド力の強化

- ・丹波栗再生モデル大作戦
- 丹波の魅力を活かしたツーリズムの推進
- ・ぐるっと丹波周遊バス応援事業



▲丹波栗植栽後の管理講習会

多世代が支え合う  
〃絆のたんば〃

- 地域コミュニティの再生
- ・空き民家再生マップ作成
- 地域ぐるみでの子育ての推進
- ・親の子育て力アップ

- ・丹波の森若者塾（高校生の地域課題研究活動への支援）



▲大丹波観光キャンペーン

ともに暮らす  
〃安全安心なたんば〃

- 医療・健康等が確保された安心な地域の実現
- ・アルコール問題の早期予防による健康づくり
- 災害に強く犯罪のない地域づくりの推進
- ・消費者力アップによる被害防止
- ・「丹波地域ひょうご防災リーダー」フォローアップ研修



無料

# 丹波地域ビジョン委員会からのお知らせ

「男女で支え合う地域づくり」を考える紙芝居を出前します！（男女共同参画グループ）



暮らしの中の男女の役割を考えてみませんか？紙芝居を通じて、みなさんと一緒に楽しみながら考えていきたいと思っています。

- ★内 容： 「地域活動のあり方を考えよう」  
「家庭における男女の役割を考えよう」
- ★所要時間： 約20分
- ★申込方法： 事務局までお申込ください。

## 防災・防犯に関する出前講話をします！（グループさるが出た！！）

- ★主な内容： ・紙芝居  
・トラッキング現象の実演  
・消火器（加圧式、蓄圧式）のお話  
・身の回りのものを使った応急担架の作り方
- ★所要時間： 約30分以上（ご相談に応じます。）
- ★申込方法： 事務局までお申込ください。



お気軽に  
お問い合わせ  
ください！！

## 県民情報番組「ひょうご“ワイワイ”」 (サンテレビ)に出演しました！

3月3日(日)に  
放送されました。

丹波市青垣町かじかの郷で都市との  
交流グループが取材を受けました！



遊楽農グループが実施している「丹波の里塾」にはばタンが一日入塾し、  
農作業や古代米の餅つきなどを体験しました。

◆サンテレビ「ひょうご“ワイワイ”」のホームページで動画をご覧いただけます。 <http://www.sun-tv.co.jp/vv/>

### 編集後記

第六期ビジョン委員会の活動もはや一年が経とうとしています。

四月に委員会が発足し、分科会での議論を重ね、八つの実践活動グループに分かれ、様々な活動を進めています。来年度は、より一層、活発な実践活動を行いたいと思います。

今後、ワークショップや講演会など地域のみなさまと一緒に活動できる機会を予定しておりますので、ぜひご参加ください。

事務局

「意見を待ちっています。」

〒六六九-1330

丹波市柏原町柏原六八八

兵庫県丹波県民局県民室内

丹波地域ビジョン委員会事務局

電話(0795)71-0500

(内線二二七)

FAX(0795)71-3013